引きこもりや不登校の子ども・若者と、その家族向けの余暇活動の充実

特定非営利活動法人キドックス
発表者　上山琴美

発表日　2018年3月2日

自立に困難を抱える青少年の自立支援

（不登校、ひきこもり、虐待やネグレクト等）

→ひきこもりの若者70万人（全体では200～300万人）

捨てられた犬が人間社会で暮らせる支援

→犬の殺処分数 約2万頭（※茨城は野犬多発エリア）

社会化
トレーニング
が必要な犬

自立支援が
必要な若者

キドックス

里親へ

就労
進学
専門機関

MCF
Mobile Communication Fund
ドコモ市民活動団体助成事業

2014年～2018年の4年間で125名の若者とコンタクト

	引きこもり状態	自宅⇆特定の場所	就労準備	進路
社会参加	自宅のみ	病院 買い物 行政・支援団体	就労訓練 ハローワーク 就活講座	進学 一般就労 福祉的就労
目的	外との交流	精神的・社会的自立	経済的自立	定着支援
サービス	お手紙・会報 ３６名 （２９%）	通所型サービス ２７名 （２２%）		交流イベント １１名 （９%）

MCF
Mobile Communication Fund
ドコモ市民活動団体助成事業

キーワードは「余暇」「家族」

社会参加

引きこもり状態	自宅⇆特定の場所	就労準備	進路
自宅のみ	病院 買い物 行政・支援団体	就労訓練 ハローワーク 就活講座	進学 一般就労 福祉的就労

交流イベント年３回

レクリエーション月１回

1 宿泊合宿

2 外部団体向け
宿泊型プログラム

MCF
Mobile Communication Fund
ドコモ市民活動団体助成事業

実施前準備

対象：５家族

アンケートの実施
「親子の対話に関するアンケート」
回収率100%

・普段対話をしていますか
・親（子）にわかってほしいこと、理解してほしいこと
・親（子）に真意や本音を確認したいこと
・親（子）に直してほしいこと、ムカついていること
・親（子）に、自分に対してもっと感謝をしてほしいこと

当日

若者：４名
親：１名
職員：２名

９月２９日（金）

１２時　スケジュール等の説明、テント立て
１４時　銭湯
１６時　買い出し
１７時　夕食作り、夕食
１９時　焚き火を囲む親子グループワーク
２２時　就寝

９月３０日（土）

７時　起床
８時　朝食
９時　片付け
１１時　解散

事後アンケート

・合宿に参加してみて、気づきや感想など
・親子の対話についての意識の変化
・合宿を経て、改めて親（子）に言いたいこと
・合宿を経て、自分が改善したいと思ったこと
・今後は、どのように親子で対話をしていきたいか、どんな家族関係でありたいか

事後評価

・野外活動でみんな生き生き

・本音を話すきっかけ

・他の家庭の親子関係

・若者同士のプライベートに関する対話

・親の参加率
親子関係がうまくいっている家庭＝参加
うまくいっていない家庭＝不参加

・気づき＝◎
アクション＝×

今後の課題と予定

「家族」

・親子関係がうまくいっていない家庭ほど、
親御さん自身が問題意識がない、または、誤認識がある。
・一方で子供側も伝えることができない。
・うまくいっている家庭の親御さんはさらに良くしようとする考えがある。
→年に１回以上は親面接

「余暇」

・若者たちにとっての余暇とは？
→若者たちも交えた企画ミーティング

今後の予定

2018年春　キャンプ企画　→若者たちとミーティング予定
2018年夏　児童養護施設向け「保護犬キャンプ」→職員さんと打ち合わせ済
通信制高校向け「保護犬キャンプ」→先生と打ち合わせ済